

クラブ ファンタジー

40周年記念コンサート

1991年12月12日(木) 午後6時30分 ●いずみホール

主催 ■クラブ ファンタジー (神戸女学院大学音楽学部同窓会)

後援 ■神戸女学院大学音楽学部 / 神戸女学院同窓会

■コンサートマネジメント
アーティスト協会 TEL.06(343)0715
〒530 大阪市北区堂島2-3-35 (栄ビル3F)

《メッセージ》



クラブ・ファンタジーの40周年記念コンサート開催を、心からお慶び申し上げます。

それにしても、私が神戸女学院の院長としてこのお祝辞を執筆することになるなど、誰が想像出来たことでしょうか。私は、それまで40年間教員として奉職した関西学院大学を退職して、昨年10月1日に神戸女学院院長に就任したばかりの新参者でございますので、どうかよろしくお見知り置き下されば幸いです。

クラブ・ファンタジーは、昭和27年に発足なさったのです。昭和27年と言えば、太平洋戦争の敗戦後間もなく、日本国中心身共に疲弊し切って、未だ何よりも日々の食糧と身を覆う衣服を入手するのに血眼の時代でした。私自身は、その年の夏、米国協会の奨学金を与えられて、焼け跡から掘り出した父の夏服をリフォームした洋服を着て、海軍時代のガスマスク鞆をぶら下げて、貨物船に便乗して米国留学に出立しました。サンフランシスコで、朝

食にバターと蜜のあふれるワッフルとハーフサイズのメロンを攝り、故国の家族たちの食卓を想って泣いたことを忘れません。

そんな時代に、わが音楽部の同窓生たちは、互いの向上のために励まし合い、また音楽を通して社会の役に立ちたいという願いをこめてクラブ・ファンタジーを誕生させられたのです。そして、11月21日にはもう第1回行事として「独唱とピアノの夕べ」を開催されたとのこと。私はもう、その素晴らしいファンタスティシズムと、力強い企画遂行力に、脱帽讃嘆する他はありません。

今は物心共にまことに恵まれた時代を迎えています。どうかこのクラブ・ファンタジーのつどいが、あの時代に培われた同窓生たちの類いまれな美しい伝統を伝え育むよき機会であるよう願ってやみません。(1991.11.25)

神戸女学院院長 城崎 進



クラブ・ファンタジー40周年おめでとうございます。一口に40年といってもこれを維持して来たことは並大抵ではなく、会員皆様の固い団結が今日を招来したといえましょう。

結成の昭和27年、第1回演奏会の出演者には、岡田、横田、畑先生といった若きホープの顔振れが輝き、その年に大学に入りやっ

と音楽人生を歩み始めた私が当時を振りかえって感無量です。ファンタジー主催の音楽会が、年々盛んになり各地の支部でも演奏会が開かれるようになって来ましたが、学部の方も最近オーケ関係の卒業生がふえてきましたので、今後は更にバラエティに富んだ優秀な演奏者の登場が可能となるでしょう。

今年の記念コンサートのメンバーの半数以上が学部で教鞭をとっておられる優れた先生方であり、其の他これに劣らず各地で活躍されている方々なので、きっと素晴らしい演奏を披露して下さると期待しています。

神戸女学院大学音楽学部長 飯田 正紀

神戸女学院といえば、私たち男性の憧れのマトであるわけですが、ともすると“良家のお嬢さん学校”というイメージでとらえられがちです。育ちがよくて、勉強も出来、そして美人が多いとあれば、だれしもが、そういう人を嫁にほしい、妻に持ちたいと思うでしょう。

ところがドッコイ、それだけではおさまらないのが、音楽学部の卒業生たち。つまりはクラブ・ファンタジーの女性方です。加えて、プロフェッショナルな根性をお持ちです。

どこの音楽大学も、“花嫁学校”化しつつあるなかで、最もそのように見られるはずの神戸女学院が違うのです。それは、岡田会長をはじめ、今夜ご出演の方々を見てもおわかりのように、関西の音楽界の第一線で活躍されている方ばかり。しかも、他人を押しつけてのし上るというタイプではありません。自然にはぐくまれた音楽性が、暖かく人々を包み込む、という演奏家たち。そこに私は、キリスト教精神に培われた、自然な音楽教育の賜物があるように思えます。関西のみならず、日本の音楽界の、強いバックボーンになって、将来ともご活躍下さい。

記念コンサートのご盛會を祈っています。

日下部吉彦（音楽評論家）

年月の経つのは早いもので、戦後わが国の復興が緒についた頃、未来への夢と希望あふれる同窓会として創立されたクラブ・ファンタジーも、40周年を迎えた。神戸女学院はわが国でも有数の歴史と個性を尊重した教育、それゆえにのびやかな気風を誇る学園だが、個人の創造性を何よりも重視する音楽は、こうした大学にもっともふさわしいものであろう。それゆえに神戸女学院大学音楽学部は、人数こそ多くはないとしても、ほかの音楽大学とは異なる大型新人を輩出してきた。

この大学の卒業生、すなわちクラブ・ファンタジーの会員の活動を眺めると、まさに神戸女学院の気風がそのなかにみなぎっている。つまり各会員がきわめて個性的な、しかも自由な創意をもった活動を展開していることに、改めて驚かされるが、そうした気風や素質は私の推察では、おそらく神戸女学院に入学を志望したときに既にそなえていたはずである。人間の素質は大学で学んだ間に変わるほど単純ではなく、それだけにこのクラブの強さが感じられる。

それはともかく、いま、このクラブが過去に行ってきた活動をふりかえってみると、会員の数の少なさを感じさせない多彩さと、楽壇に占める地位の大きさに気が付く。会員のそれぞれが粒よりの人達であるためか、どちらを向いてもクラブ・ファンタジーの会員が指導的立場に立たれているように思える。たとえば今夜のコンサートの顔ぶれを見るだけでも、このクラブが第一級の音楽家を擁していることがわかるが、実はクラブ・ファンタジーには、まだまだ多くの名手、新進が所属している。

そのため私としては、40周年に心からお祝いを申し上げるとともに、これを機に、さらに活発な活動を望みたいと思う。もう、これだけの音楽家集団となったからには、クラブ・ファンタジーでなくてはできない事業があると思うためである。

小石忠男（音楽評論家）

《ごあいさつ》



音楽学部を卒業された先輩方が発足させていただきましたクラブ・ファンタジーも40周年を迎えたのでございます。当時最も若い卒業生として参加を許された私も、人生と音楽に対して夢と希望に燃えておりました。このクラブ・ファンタジーをどんなにか心強く思ったことでしょう。

その後、音楽学部は定員も増し、校舎も増築され、現在では作曲専攻、声楽専攻の他、器楽専攻はピアノ、ヴァイオリンに加えて、オルガン、チェンバロ、ハープ、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、クラリネット、オーボエ、バズーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、打楽器と、誠に多彩で優秀な人達を世に送り出せるようになりました。今も国内は元より、海外でも多くの卒業生が活躍しています。

このクラブ・ファンタジーが益々発展して参ることが出来ますように皆様の御指導、御鞭撻をお願い申し上げる次第でございます。

クラブ・ファンタジー会長
神戸女学院大学音楽学部教授

岡田晴美

《プログラム》

グリーク◇ノルウェーの旋律による変奏形式のバラード ト短調 作品24

Grieg Ballade in Form von Variationen über ein norwegische Melodie g-moll Op.24 Piano, Kikuko Kurose

ピアノ・黒瀬 紀久子

ヴェルディ◇オペラ「椿姫」より

Verdi "La Traviata"

- ああ、そは彼の人か ～ 花から花へ
Ah! fors'è lui che lánima ~ Sempre libera deggio
- さらば、過ぎ去った日よ
Addio del passato

ソプラノ・田中 淳子
Soprano, Junko Tanaka

ピアノ・内尾 睦子
Piano, Mutsuko Uchio

ドビュッシー◇ヴァイオリン・ソナタ

Debussy Violin Sonata

- I. Allegro vivo
- II. Intermède, Fantásque et léger
- III. Finale, Très unimé

ヴァイオリン・松永 みどり
Violin, Midori Matsunaga

ピアノ・神吉 泉
Piano, Izumi Kamiyoshi

ビゼー◇「カルメン」より

Bizet "Carmen"

- ハバネラ Habanera
- セギディーリア Seguidilla

ソプラノ・荒田 祐子
Soprano, Yuko Arata

ピアノ・神吉 泉
Piano, Izumi Kamiyoshi

チレア◇「アドリアーナ・ルクヴルール」より

Cilea "Adriana Lecouvreur"

- 苦しみの快楽
Acerba voluttà

*

ドビュッシー◇前奏曲集 第1集より

Debussy Préludes I

- IV. 音とかおりは夕暮れの大気に漂う
Les sons et les parfums tournent dans l'air du soir
- VII. 西風の見たもの
Ce qu'a vu le vent d'ouest

ピアノ・山内 鈴子
Piano, Reiko Yamauchi

◇喜びの島

L'isle joyeuse

ドニゼッティ◇「ランメルムールのルチア」より

Donizetti Lucia di Lammermoor

- やさしい声が聞こゆる
Il dolce suono mi colpì di sua voce

ソプラノ・斉藤 言子
Soprano, Kotoko Saito

ピアノ・内尾 睦子
Piano, Mutsuko Uchio

ラフマニノフ◇2台のピアノのための組曲 第2番 作品17より

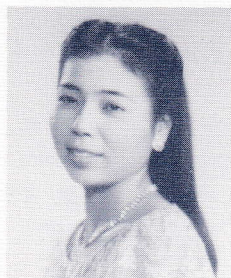
Rachmaninoff Suite No.2 Op.17

- III. ロマンズ Romance
- IV. タランテラ Tarantella

ピアノ・南 祐子
Piano, Sachiko Minami

ピアノ・大川内 玲子
Piano, Reiko Okawauchi

《プロフィール》



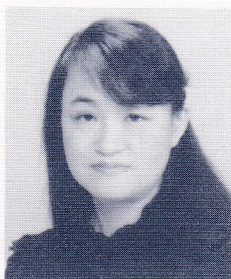
黒瀬紀久子（ピアノ）

イタリア国立聖チェチリア音楽院アカデミア修了。エンナ国際コンクール第1位、ヴィオッティ国際コンクール第4位他、数々のコンクールに入賞後イタリア各地でリサイタル・ラジオ放送出演を行う。81年帰国以来毎年リサイタルを開催する他、大阪フィルハーモニー交響楽団、テレマン室内管弦楽団、京都市交響楽団他との協演や室内楽での活動も行っている。金澤綾子、金澤和孝、金澤益孝、L.D.バルベリース、C.ゼッキの各氏に師事。



田中淳子（ソプラノ）

日伊コンコルソ金賞、新人音楽コンクール第1位等受賞。オペラ「蝶々夫人」「椿姫」では、タイトルロールを演じ「フィガロの結婚」「魔弾の射手」「ドン・ジョヴァンニ」「タンホイザー」「魔笛」、新作オペラ中村茂隆「小案栖の長兵衛」、原嘉寿子「近松オペラ岩長姫」等で重要な役割を果たす。「マタイ受難曲」「メサイア」「第九」ソプラノソロ、NHK-FM・ラジオ関西・サンTV等に出演。イタリアの夏期講座にてマリオ・デル・モナコに指導を受ける。福澤アクリヴィ、畑きみ子の各氏に師事。関西二期会正会員。神戸女学院大学非常勤講師。



松永みどり（ヴァイオリン）

長谷川孝一氏に師事。

松永みどり弦楽四重奏団主宰。

神戸女学院大学音楽学部非常勤講師。



荒田祐子（メゾ・ソプラノ）

神戸女学院大学研究科修了。岡田晴美氏に師事。東京読売新人演奏会出演、関西歌劇団公演「アイーダ」「カルメン」「お蝶夫人」「カバレリア・ルスティカーナ」他常に重要な役割を果たし、高い評価を得ている。又「第九」をはじめ、オラトリオの独唱者として活躍。大阪文化祭奨励賞、クリティッククラブ新人賞、なにわ芸術祭新人賞、神戸灘ライオンズクラブ音楽賞を受賞。83年文化庁芸術家在外派遣研修員として渡伊、シミオナート氏に師事、ノヴァーラ国際声楽コンクール、カリアリ国際声楽コンクール第1位。ヨーロッパ各地でオペラや演奏会に出演。関西歌劇団所属。神戸女学院大学非常勤講師。



山内鈴子（ピアノ）

洗足学園大学音楽学部マスターコース卒業。第44回東京読売新人演奏会出演。日演連推薦ヤマハリサイタル・神戸灘ライオンズクラブ主催ピアノリサイタル・神戸文化ホールでのリサイタル・神戸サロンコンサート主催リサイタル及び室内楽や伴奏など幅広く活躍。第17回音楽クリティッククラブ新人賞・神戸灘ライオンズクラブ音楽賞・第9回ブルーメール賞受賞。故東 貞一、E.F.ザイラー、小柳芳子、奥村智美、M.エッガーの各氏に師事。神戸女学院大学、大阪芸術大学非常勤講師。日本演奏連盟・宝塚演奏家連盟会員。



齋藤言子（ソプラノ）

関西新人演奏会出演。ミラノ国立ヴェルディ音楽院に留学。オペラ、リサイタル放送等で活躍。帰国後、オペラ、リサイタル、宗教曲ソリスト、NHK放送をはじめ、オーケストラとの協演等で、好評を得る。又、二期会公演「椿姫」を日本語に訳し、高く評価された。イタリア声楽コンクールソミラノ大賞、国際声楽コンクールではパピア第3位、ローディー審査員特賞、パッサリアーノ第4位等を受賞。岡田晴美、フランコ・フェラーリス、マリア・カルボネの各氏に師事。神戸女学院大学専任講師、大阪芸術大学非常勤講師、イタリアコンクール審査員、関西二期会正会員。



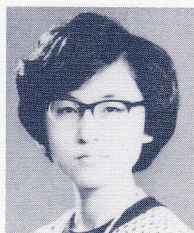
南 祐子（ピアノ）

各種リサイタルの他、80年大川内玲子とデュオを結成。85年、米国サンフランシスコ音楽院、ロマリンダ大学でのデュオリサイタルを含め、デュオリサイタルを度々開催。又、渡辺暁雄指揮・京都市交響楽団、外山雄三指揮・大阪フィルハーモニー交響楽団等の協演も多く、去る11月にはS. ヴラダー指揮チェコスロバキア室内管弦楽団と協演。小柳芳子、矢部民、F. ブルックマン、E. ザイラー、池田洋子の各氏に師事。大阪芸術大学助教授。



大川内玲子（ピアノ）

東京読売新人・関西新人演奏会出演。各種リサイタルの他、80年南祐子とデュオを結成。85年、米国サンフランシスコ音楽院、ロマリンダ大学でのデュオリサイタルを含め、デュオリサイタルを度々開催。外山雄三指揮大阪フィルハーモニー交響楽団、金洪才指揮京都市交響楽団等オーケストラとの協演も多く、去る11月にはS. ヴラダー指揮チェコスロバキア室内管弦楽団と協演。M. ザイラー、大橋京子、伊達純の各氏に師事。大阪芸術大学、頤栄短期大学非常勤講師。



内尾睦子（ピアノ伴奏）

在学中ザルツブルグモーツァルテウム音楽院夏期講習にて、カール・ゼーマン氏の指導を受ける。日演連推薦ヤマハリサイタルに出演。関西フィル、モーツァルト室内管弦楽団、大阪フィルと協演。81、84年にリサイタル開催。池田洋子氏に師事。



神吉 泉（ピアノ伴奏）

神戸女学院大学研究科修了。学内オーディションにてハンナ・ギューリック・スエヒロ賞受賞。リトル・カメラコンクール奨励賞及び伴奏賞受賞。西日本新人ピアノコンクール第2位受賞。山田康子、山田富士子、山上明美の各氏に師事。神戸女学院大学音楽学部伴奏要員。

クラブ ファンタジー

1951年に発足した神戸女学院大学
音楽学部卒業生の会の名称です。

本会は会員相互の研究、
及び親睦と交流を
目的としています。